

-----  
■ さろん | Mail News 2016/6/15 | #69 ■

(\*Bcc でお送りしています)

これまで「さろん」にお申込・ご参加された方にご案内しています。  
ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

-----  
哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。

みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、

今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラムは執筆者の個人的な考えを表したものです。

会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。

予めご了承ください。

=====Vol.69 2016年6月15日(水)=====

さ | ろ | ん |

└ ─ ┘ └ ─ ┘

M | a | i | l | N | e | w | s |

└ ─ ┘ └ ─ ┘ └ ─ ┘ └ ─ ┘

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

INDEX

- 
- | 【1】 コラム／エッセイ
  - |     ◇ 『創発が生まれるには』
  - | 【おしらせ】 「さろんラボ」 アイデアを募集しています
  - | 【付録】 コトバをハーバリウムする
  - | 【付録】 さろんアーカイブの遊歩道
  - | 編集後記
- 

CONTENTS

▽【創発が生まれるには】 聖理

MITメディアラボ所長の伊藤穰一氏は、今から5年前に『創発』という言葉の意味を問われて次のように解説している\*1。「…例えばアリは一匹一匹に高い知性はありませんが、群れとしては、とても複雑な共同作業をします。巣をつくり、ごみ捨て場や、死んだ仲間の墓地もつくる。個々の単純な動きが相互に作用し、いわばボトムアップで思いがけない高度な秩序が生まれていく。そういう現象を創発と呼びます。例えば、大都市でも、トップダウンの都市計画より住民の相互作用から生み出された街並みの方がうまくいく。これも創発です」。

さらに近年日本でも行われるようになった「討論型世論調査」を紹介する\*1。「例えば米国に『討論型世論調査』という面白い試みがあります。無作為抽出したごく普通の人々を一カ所に集め、税制とか年金とか、ややこしい問題を数日間議論してもらう。すると一人一人のレベルを超えた深い意見が出るようになり、全体としての判断もより適切な方向に変化していく。これも、創発的な相互作用でしょう」。「そういうプロセスが、インターネットの普及でいよいよ発生しやすくなってきました。人々はネットを通じ必要な情報を独自に集め、思考を深め、お互いの中で質の高い議論を交わしている。人々はだんだん賢くなってきている」。

伊藤氏によれば、『創発』という仕組みにより「一人一人のレベルを超えた深い意見が出るようになり、全体としての判断もより適切な方向に変化していく」、「人々は必要な情報を独自に集め、思考を深め、お互いの中で質の高い議論を交わしている。人々はだんだん賢くなってきている」。そうであるなら、この仕組みは哲学対話にも当てはまるはずである。参加者一人ひとりの持つ知識、創造力や判断力には限界があるかもしれないが、人々が集い、対話し、考えることが創発をもたらして、新しい発想が飛び出すことがあるかもしれない。さて。我田引水だが、弊会にはスタッフ2名が今月から加わる。この仲間が弊会において新しい風を起こして、何か創発される日を一人で夢想している。

\*1) 2011年9月：「朝日新聞・伊藤穰一さんに聞く 創発する民主主義とは」

<http://joi.ito.com/jp/archives/2011/09/05/005511.html>

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

「さろんラボ」、常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、

「さろん」を触媒にして、

どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

さろんラボは当面継続して設けていきます。

この「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/> が生まれ、

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table> も生まれました。

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、

みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えて、

どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

---

【付録】

コトバをハーバリウムする

---

---

本のコトバから #08

---

「ON THE FREEWAY OF LIFE, CHARLIE BROWN, WHERE ARE YOU DRIVING?」

(あなたは人生のフリーウェイのどこを走ってる?)

「I THINK I MISSED THE EXIT ABOUT TEN MILES BACK...」

(10 マイル手前の出口を見落としたみたい…)

——チャールズ・シュルツ 『SNOOPY』

---

歌のコトバから #08

---

「多摩蘭坂を登り切る 手前の坂の  
途中の家を借りて 住んでる  
だけど どうも苦手さ こんな夜は  
お月さまのぞいてる 君の口に似てる  
キスしておくれよ 窓から」

——RC サクセッション『多摩蘭坂』（作詞：忌野清志郎）

---

【付録】

さろんアーカイブの遊歩道 #02

---

カテゴリ：【さろん哲学 議事録】 第34回

テーマ： 「なぜ美しいと思うのか？」

開催日： 2013年6月9日

<http://salon-public.com/wp->

[content/uploads/2014/01/%E7%AC%AC34%E5%9B%9E%E4%BE%8B%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E4%BA%8B%E3%83%A1%E3%83%A21.pdf](http://salon-public.com/wp-content/uploads/2014/01/%E7%AC%AC34%E5%9B%9E%E4%BE%8B%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E4%BA%8B%E3%83%A1%E3%83%A21.pdf)



3年前の6月に開催した例会。この回は「和さろん」と銘打って、浜離宮庭園内の芳梅亭で実施しました。

参加者のご協力を得て、お茶を点でて頂き和菓子と一緒にまったりしたひと時を過ごしました。和庭園を散策しながら会場に到着し、茶を飲みながら庭を愛でながら語らうテーマが「美」というのはいかにも和風な趣があってよかった。

さて3年後、今月の例会テーマが「人はなぜ「美しい」が分かるのか？」というのは奇妙なリンクです。6月、あるいは梅雨というシーズンがなにか「美」について立ち止まらせるのか？

少なくとも進行役（テーマ提起者）の中では何らかの関連があるのだろうか？

いずれにしても、いまご一読いただくとより楽しんでもらえるのではないかと、と思います。

(セ)

---

【さろん】 イベントカレンダー <http://salon-public.com/> ご予約受付中

---

▽【さろん哲学】 哲学カフェ #70

6/1 8(土) 15時 - 17時@未定 / テーマ「人はなぜ「美しい」が分かるのか？」

- ▽【朝さろん】読書会 #61  
7/1 4(木) 7時 - 8時@渋谷 / 『猟銃』井上靖 (新潮文庫)
- ▽【さろん哲学】哲学カフェ #71  
7/1 6(土) 15時 - 17時@渋谷 / テーマ「(未定)」
- ▽【朝さろん】読書会 #62  
8/1 8(木) 7時 - 8時@渋谷 / 『暗室』吉行淳之介 (講談社文芸文庫)
- ▽【さろん哲学】哲学カフェ #72  
8/2 0(土) 15時 - 17時@渋谷 / テーマ「(未定)」
- ▽【朝さろん】読書会 #63 (さろん 6th Anniv.特別プログラム)  
9/1 8(日) 9時 - 12時@渋谷 / 『死の棘』島尾敏雄 (新潮文庫)
- 

編集後記

メールニュース第69号をお届けします。

先日、新スタッフ2名を加えてのスタッフMTGがありました。  
全員が揃うのは初めてでしたが、初回から活発な意見交換がなされ、  
9月の6周年、そして今後の展開への期待がいやでも弾むものとなりました。  
改めまして、どうぞよろしくお願ひします。

それではまた次号でお会いしましょう。

編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2016/6/15

⇒次号 (7月1日発行予定)

---

さろん Mail News 第69号 / 2016年6月15日発行

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

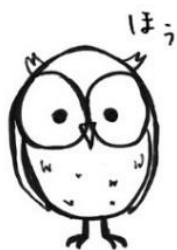
<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

---

- ◇「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、  
当会からのご案内のためだけに使用いたします。  
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。

- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。  
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
  - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
  - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
  - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."

---